

平成18年度 旭市水道事業会計予算の概要

1. 業務の予定量

(1) 給水件数

年度中の給水増加件数を320件見込み、年度末の給水件数18,198件を予定した。

(2) 年間給水量

年間給水量を6,273,600m³（1日平均給水量17,188m³）予定した。

2. 収益的収入及び支出

(1) 事業収益を1,637,992千円、事業費用を1,690,720千円予定した。

当年度見込まれる純損失は、消費税抜きで53,856千円（消費税込みで52,728千円）が予定される。

(2) 水道料金収入は、年間有収水量を5,834,400m³と想定し、1,363,498千円を予定した。

(3) 企業団からの受水費は、年間給水量を6,273,600m³と想定し、850,247千円を予定した。

(4) 補助金は、高料金対策として一般会計から134,167千円、県から110,600千円を予定した。

(5) 構築物等有形固定資産の減価償却費253,306千円、創設事業に係る企業債の支払利息を214,611千円予定した。

3. 資本的収入及び支出

(1) 資本的収入を29,374千円、資本的支出を480,295千円予定した。

なお、資本的収入が資本的支出に対し不足する額450,921千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,033千円及び、過年度分損益勘定留保資金449,888千円で補てんする。

(2) 水道加入者からの給水申込納付金収入は、28,374千円を予定した。

(3) 建設改良として水質改善等に対応するための配水管布設工事等に51,563千円を予定した。

(4) 企業債の償還元金は、426,732千円を予定した。